

自動認識システム大賞「入選」

テーマ: 麴町小学校における自動認識技術を活用した情報リテラシー教育

申請会社: デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社

ユーザー名: 千代田区立麴町小学校

ワーク・わく・クラブ応援団@麴町小(千代田区立麴町小学校PTA)

◇背景◇

2004年5月、麴町小学校校長からPTAが土曜日の休日事業の依頼を受け、その応援チーム「ワーク・わく・クラブ応援団@麴町小」を立ち上げた。
(講座ごとに、募集をかけて行う、ワークショップの企画・実行)

同年5月から始まった麴町小学校の休日事業にて、携帯電話と最新の自動認識技術を使った情報リテラシー教育と行動学習が企画・実行された。

◇効果◇

・ユビキタスとしての携帯電話

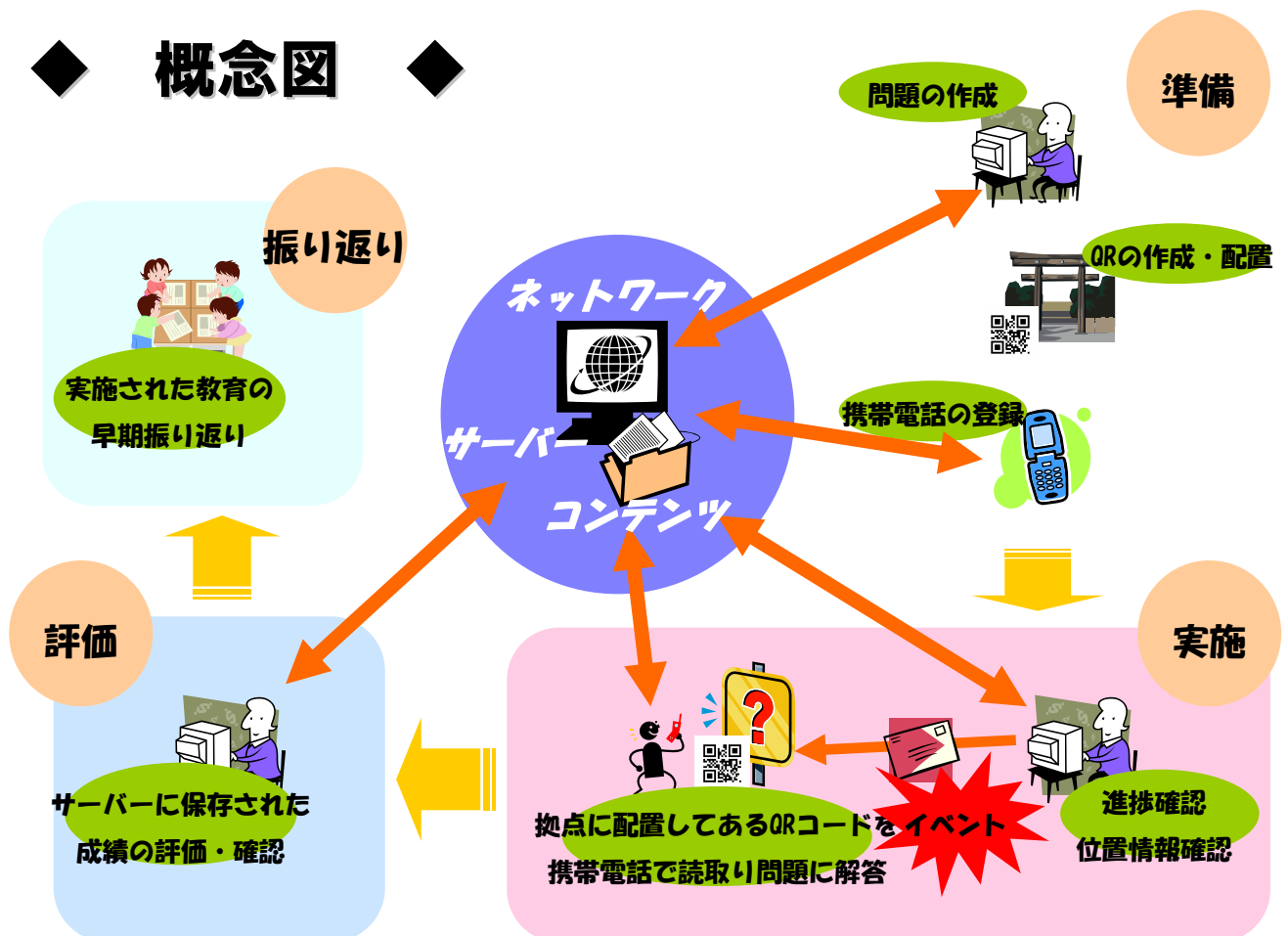
その携帯電話と融合する自動認識(QRコード、ICタグ、電子透かし)という先端技術に接することで、生きた情報リテラシー教育が実践出来た。

・児童は何でも知っていると思っている。

エネルギー教育、食育教育などを通じて、知っているつもりの自分の住んでいる街、食べ物などのことを本当は一部しか知らないという事実確認ができ、新しいことを理解し覚えることが出来たことが有意義であった。

・1年生から5年生までの小集団活動で、上級生が下級生に様々なことを教えるなど協調性、試行錯誤、成功体験など「知識を得る」から「出来る」までの「事実を確認する」を得ることが出来た。

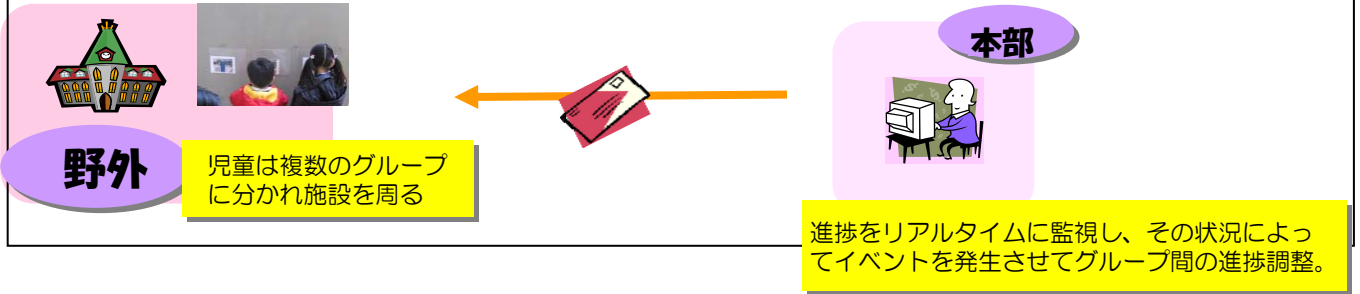
概念図



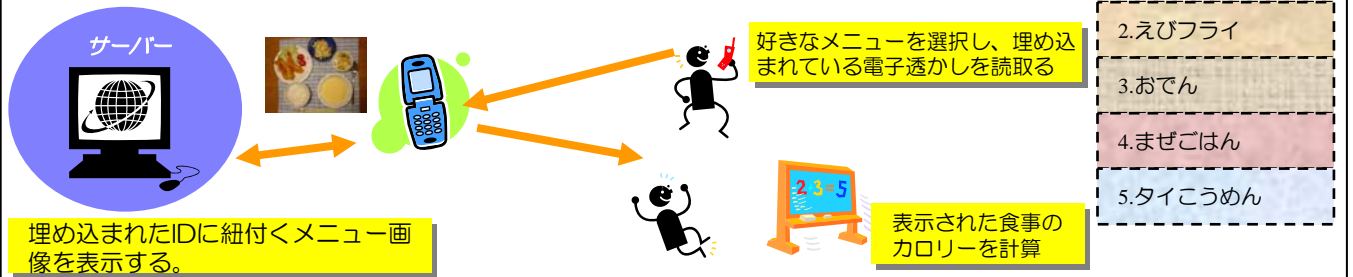
自動認識技術を活用した情報リテラシー教育

●携帯電話+QRコードの活用

小学校周辺の設備・施設にQRコードを埋め込んだシートを配置し、出題された問題に正解したら次の設備・施設を目指すオリエンテーション（行動学習）



●携帯電話+電子透かし（ウォーターマーク）の活用



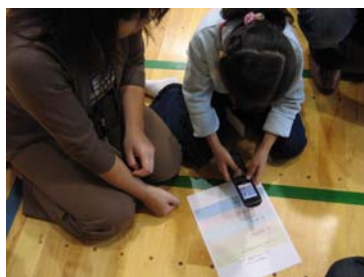
●携帯電話+ICタグの活用



QRコード



電子透かし



ICタグ

